

2021年7月9日

デジタルモノクロ複合機「RICOH IM 6000/5000/4000/3500/2500」を発売 ～充実の基本性能と最新のクラウドサービス対応でユーザーの業務効率化に貢献～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、デジタルモノクロ複合機の新製品として「RICOH IM 6000/5000/4000/3500/2500」の5機種10モデルを2021年7月13日に発売します。

新製品は、2017年1月発売の「RICOH MP 6055/5055/4055/3555/2555」の後継機種で、複合機やインタラクティブホワイトボード(電子黒板)、カメラなどのエッジデバイスを、クラウドプラットフォーム「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」を介してお客様の業種業務に応じた各種クラウドサービスと組み合わせ、オフィスワークの自動化・省力化を推進する「RICOH Intelligent WorkCore」に対応するデジタルモノクロ複合機です。

オフィスの中心となる中・高速クラスのデジタルモノクロ複合機として、高速出力と、多様な後処理オプションにより、高い生産性を実現します。ニューノーマルにおけるテレワークの普及を前提として、紙文書のスキャナ機能を強化し、OCR(光学文字認識)処理速度がさらに向上したほか、PDFなど電子データ生成時の生産性が向上しました。また、ペーパーレスファクス機能も大幅に強化し、多様な働き方にも柔軟に対応します。

操作部は、使いやすさを向上させた10.1インチの大型フルカラータッチパネル新「MultiLink-Panel」を採用するほか、各種設定画面やアプリケーションのユーザーインターフェースを改善。より直観的で使いやすい操作性を実現しています。また、新たに複合機本体の導入後も基本性能を最新の状態にアップデートできる「RICOH Always Current Technology」に対応しています。

紙・デジタルのドキュメントを扱うさまざまな業種・業務において、オフィスの中心となる複合機として入出力に関わるさまざまな業務の効率化を支援いたします。

製品名	モデル数	連続複写速度 (A4ヨコ・毎分)	標準価格(消費税別)
RICOH IM 6000	2モデル	60枚	213万円～
RICOH IM 5000	2モデル	50枚	155万円～
RICOH IM 4000	2モデル	40枚	126万円～
RICOH IM 3500	2モデル	35枚	103万円～
RICOH IM 2500	2モデル	25枚	90万円～



RICOH IM 3500F
(オプションを装着したもの)

<新製品 RICOH IM 6000/5000/4000/3500/2500 の主な特長>

1. 高い生産性でオフィス業務を効率化

- RICOH IM 6000/5000/4000/3500/2500の連続複写速度は、片面・両面同速で60枚/分*¹、50枚/分*¹、40枚/分*¹、35枚/分*¹、25枚/分*¹の5機種10モデルをご用意し、お客様のニーズに合わせた選択を可能としています。
- 一度の搬送で両面の同時読み取りが可能な1パス両面ADF*²の読み取り速度が、従来機と比較して向上しました。フルカラー・モノクロともに片面120ページ/分*³、両面240ページ/分*³の高速スキャンが可能で、紙文書をスピーディーに電子化することで業務を効率化します。
- 従来の1,200dpi印刷モードに加え、600dpiと同等の生産性で出力できる1,200dpi速度優先モードを新たに搭載。図面やバーコード付きの帳票等、高解像度で大量出力が求められるドキュメントの出力業務の効率化を実現します。

*1 A4ヨコ、連続印刷時。

*2 ドキュメントフィーダー DF3130装着時、もしくはIM 6000にて標準対応。

*3 A4ヨコ、200dpi文字モード時。原稿サイズ混載時は除く。

2. 変化する働き方に合わせて強化したファクス機能

- ファクス受信文書の蓄積容量が最大で約3,000文書、約30,000枚*⁴と、蓄積文書数で従来機より約10倍に増加*⁵し、受信文書量が多いお客様でも複合機本体だけで安心してペーパーレスファクスをご利用いただけます。また受信文書を回線や相手先*⁶ごとに、本体のハードディスク内に作成し

たフォルダーへ自動振り分けができるようになりました。お客様による仕分け作業が不要となり、受信文書の検索時間が短縮されることで、業務効率向上に貢献します。

- これまでは、本体に蓄積したファクス受信データを1件ずつダウンロードする必要がありましたが、本機ではUSBメモリー*⁷に一括ダウンロードが可能になりました。お客様の業務のタイミングに合わせて処理が可能となり、より使い勝手が向上しました。
- クラウドファクスソリューション「RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud」*⁸に新たに対応。外出先やご自宅などのテレワーク環境でファクス受信業務をより効率よく推進することが可能です。

*4 本体ハードディスクに蓄積の場合。メモリーに蓄積できる受信枚数は約320枚、オプションのFAXメモリーを装着した場合約4,800枚となります。(A4 ITU-T NO.1チャート ふつう字)

*5 本体標準ファクスメモリー蓄積時と比較した場合。

*6 送信元のファクスに発信元名称やファクス番号が設定されている必要があります。

*7 すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。

*8 別途、「RICOH カンタンファクス仕分け for Cloud」の契約が必要です。

3. クラウドサービスやアプリケーションの対応による拡張性とセキュリティ対応

- 複合機やインタラクティブ ホワイトボード(電子黒板)、カメラなどのエッジデバイスを、クラウドプラットフォーム「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」を介して各種クラウドサービスと組み合わせ、オフィスワークの自動化・省力化を推進する「RICOH Intelligent WorkCore」に対応します。Dropbox、Google Drive™、OneDrive®などのクラウドストレージ連携サービスや、AI(人工知能)機能を搭載したOCRサービスを提供、また種類の異なる紙原稿を大量に出力し自動で部署やクラス毎に仕分けを行うソリューション「RICOH ジョブビルドandクラス」や、個人情報や機密性が高いドキュメントをコピーやスキャンする際に複合機の操作パネル上で直観的な操作でマスキングを行う「RICOH カンタンマスキングアプリ」などにも対応し、それらを組み合わせることで、お客様の業種業務課題に幅広く対応します。
- 複合機本体の基本機能を最新の状態にアップデートしたり、機能追加が行える「RICOH Always Current Technology」に対応しました。これにより、最新のクラウドサービスとの連携が可能のほか、導入時期が異なる機種間での機能統合や最新のセキュリティ機能の実装などに対応します。

4. ユーザーインターフェースの改善で使いやすさを向上

- 直感的な操作が可能な10.1インチの大型フルカラータッチパネル新「MultiLink-Panel」を搭載。フリックやドラッグなどの操作感を向上させ、またチルト機構を改良し従来よりも画面の調整角度を増加させ、どなたでもより快適に操作いただけるようになりました。
- 各機能の操作画面も、より直感的な操作で機能を活用しやすいユーザーインターフェースに変更しました。

5. 多彩なオプションで高付加価値なドキュメント出力が可能

- 多彩な紙折りができる「インナー紙折りユニット FD3010」はZ折り、二つ折り、外三つ折り、内三つ折りが可能なうえ、複合機の胴内排紙部に装着・出力ができ、多機能と省スペースを両立します。また、多機能フィニッシャー、大量給紙トレイ、領収書などの小サイズ紙用読み取りユニットなど、お客様のニーズに合わせたオプションにより業務の効率化を実現します。

6. 出力機器のリモート管理サービスに対応^{*9}

- ・ 各種トラブルや操作方法が不明な場合にお客様の操作パネルを遠隔で確認・操作して問題を解決する遠隔サポートをはじめ、機器のダウンタイムを最小化するための最新のサポート機能を搭載しています。また、お客様の機器を常時監視するリモート管理サービスを通じて取得した稼働状況などのビッグデータを人工知能(AI)で分析することで、トラブルの未然に防止します。

*9 パフォーマンス契約の場合。

※Dropbox は、Dropbox, Inc.の商標です。

※Google DriveはGoogle LLC.の商標です。

※OneDriveは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、お客様のデジタル変革を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2021年3月期グループ連結売上高1兆6,820億円)。

imagine. change. 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人々の生活の質の向上、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>